

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) 2023年度入校式及び第1回カリキュラムのご報告

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「鈴鹿サーキットレーシングスクール (SRS)」より名称を変更し、2022年から新たにスタートした「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿)」では、3月27日 (月) にMoto/Kart/Formula の3クラス合同による2023年度入校式を開催しました。また、3月27日 (月) から29日 (水) の3日間にわたり、Moto/Kart 各クラスの第1回目カリキュラムも行いました。この記念すべき式典・事業を滞りなく終了させることができましたことをご協賛各社様に深く感謝申し上げますとともに、ここに報告させていただきます。

近年、F1では角田裕毅選手、Moto3では古里太陽選手らをはじめ、多くのスクール卒業生たちが国内外から注目を集めています。彼らに続くドライバーやライダーの育成を目標に、HRS鈴鹿は2023年度も活動を続けてまいります。何卒、ご理解・ご協力のほど、宜しくお願い致します。

敬具

2023年3月29日

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2023 ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) / 入校式～第1回カリキュラム開催概要

【合同入校式】

- 日時： 3月27日 (月)
- 会場： ピットビル2F・ホスピタリティラウンジ
- 参加： Moto Class 岡田忠之Principal、田村圭二Director、その他Instructor
Kart Class 中野信治Vice Principal、服部弘光Director、その他Instructor
Formula Class 中野信治Vice Principal、佐藤浩二Director
鎌田貴Physical coach

【第1回目カリキュラム】

- 日時： 3月27日 (月)～29日 (水)
- 会場： Moto Classベーシックコース 交通教育センター、南コース
Kart Classベーシックコース/アドバンスコース 南コース
Formula Classアドバンスコース 適性検査、ロガー講習、シート作成、シートベルト・ペダル調整



入校生たちのこの1年に掛ける熱意に満ちた会場にて3クラス合同による入校式を開催した



育成環境を強化し、2年目を迎えた「HRS鈴鹿」に期待に胸を膨らませた40名が入校

鈴鹿サーキット周辺の桜が見頃の時期を迎えた3月27日(月)、2023年度HRS鈴鹿入校式を鈴鹿サーキット・国際レーシングコースピットビル2Fのホスピタリティラウンジにて行いました。

Moto/Kart/Formula 各クラスの合同によって行ったこの入校式には、Moto Classベーシックコース13名、同アドバンスコース5名、Kart Classベーシックコース12名、同アドバンスコース2名、2022年末より開催してきたFormula Classアドバンスコース選考会STEP1/STEP2を経て選抜したFormula Classアドバンスコース8名(内2名欠席)の入校生合計40名が参加。国内のトップライダー・トップドライバーが務める各クラスのInstructorの皆様や保護者の皆様にもたくさんご列席いただき、入校生たちの1年間に掛ける意気込みが満ちた会場で厳かに入校式を行いました。

まず、ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキットモータースポーツ事業部レーシングスクールセンター所長 荒川基之、続いて株式会社ホンダ・レーシング 取締役 企画管理部 部長 長井昌也様より挨拶。その後、Moto Class岡田忠之Principal、Kart/Formula Class中野信治 Vice Principalより入校生に向けて激励の言葉が贈られました。さらに各Instructorと入校生の紹介を行い、名前を呼ばれた入校生は順次自分の進むべき道筋を見据えた真剣なまなざしで一礼しました。

●Moto Class岡田忠之Principal

「一年間アツと言う間に過ぎていくと思います。Instructor陣とどンドンコミュニケーションを取り、課題があれば積極的に質問して自分の走りにつなげていって欲しいと思います。いっしょに頑張りましょう」

●Kart/Formula Class中野信治Vice Principal

「スクールに来れば速くなれると考えているとしたら、それは間違いです。ただここに来るだけでは速くできません。スクールは学びに来る場所なのです。学ぶということは学ぶ側の熱量でいろいろなことが変わってきます。どのように考え、行動し、取り組むかで全てが決まります。君たちの夢、目標を叶えることができるこの環境の中で練習する意味は大きいです。1分1秒を無駄にせず、本気で取り組んでください。Instructorを本気にさせるような走り、行動を見せてください」



入校式で挨拶するMoto Class岡田忠之Principal





Moto Classベーシックコース入校生13名



Moto Classアドバンスコース入校生5名





Kart Classベーシックコース入校生12名



Kart Classアドバンスコース入校生2名



Formula Classアドバンスコース入校生は、本格的カリキュラムに臨むためのシート作成、シートベルト・ペダル調整を実施

Formula Classアドバンスコース入校生は3月27日(月)の入校式が終わった直後、早速、自分がどのような性格なのかを知り、それをレースの組み立てなどに活かすための適正検査を受け、さらにデータロガーの活用方法を学ぶ講習会にも参加しました。

最近のレースでは走行中に蓄積される各種データを分析し、ドライビングやマシンセッティングに活用する能力が不可欠です。その技術を身に付けられるよう、各コーナーにおけるギアポジション、スロットル開度、エンジン回転数、ブレーキペダル踏力、ステアリング舵角などの各種データを各セッションごとに表示できるデータロギングソフトを使い、速いドライバーと自分の走行パラメータとを比較しながら自分のドライビングへとフィードバックする方法を学びました。

また、3月28日(火)と29日(水)の2日間に渡り、各自の体形に合ったシート作成、マシンを的確に操作するのに欠かせないシートベルト・ペダルの調整も行いました。

フロントタイヤを目視でき、ミラーを確認しやすく、さらにステアリングやペダル類を的確に操作できるようにシートの前後位置や高さ、角度、ペダルまでの距離などを調整。もちろん、シートベルトはシートに身体をきっちり固定できる長さに調整しました。さらに四輪レース用頸部保護装具や、同時にレーシングスーツの間にセットすることで体圧を分散させ、万が一の時には首に掛かる衝撃を吸収する弾力性も併せ持つ保護装具の着用確認も行いました。



Formula Classアドバンスコース入校生8名(内2名欠席)





(Formula Classアドバンスコース) HRS鈴鹿Physical coach鎌田貴氏の指導のもと実施した内田クレペリン検査。ここで得られた性格や適性のデータを今後のカリキュラムに活用する



(Formula Classアドバンスコース) レーシングドライバーに必要とされるデータロガーの活用方法について学ぶ



入校式後は早速第1回目カリキュラム Moto Classベーシックコースは基礎トレーニングからスタート

Moto Classベーシックコースの初日カリキュラムは交通教育センターにて行いました。

まず初めに今後のコミュニケーションを円滑にするため、Instructorの紹介を行い、その後に入校生が自己紹介。保護者の皆様にもオリエンテーションに参加していただき、多くの人前で話すことにより、積極性を養う訓練としました。

その後、新生がどのぐらいのレベルで走ることができるかを確認するため、Honda GROMを使い、交通教育センターの特設コースを周回。さらに基本トレーニングとしてブレーキング、コーナリング、切り返しの練習を繰り返し行いました。ここではできるだけコンパクトに曲がることを念頭に、コーナーの手前でスピードを落とし、下半身を使ってバイクを曲げることや視線の送り方など、様々な方法を試しながら走行訓練を続けました。

これらの練習の目的はセルフステアなど、バイクに備わった基本的な特性を掴み、それをライディングに活かすことです。今後のカリキュラムでも常にバイクの挙動に注意を配りながら操作することを心掛けることで的確なマシンコントロール能力を身に付けていきます。

2日目の28日(火)は新生に対して内田クレペリン検査を実施。この検査によって得られた個々の性格や適性のデータを今後のカリキュラムに活用していきます。

その後、スクール車両であるHonda CBR250R・NSF100の取り扱い方の説明を行い、鈴鹿サーキット南コースを舞台に走行訓練へ。28日(火)、最終日の29日(水)ともに加速、ブレーキング、コーナリングというバイクの基本的な動きを身体に覚え込ませるため、走行訓練を繰り返し行いました。

これらの走行では各Instructorが同時走行することでライン取りやブレーキングポイントなどを教え込みました。また、その他のInstructorはコース脇より受講生の走りをチェックし、走行後にアドバイスを行いました。



(Moto Classベーシックコース)今後のコミュニケーションを円滑にするため、Instructorの紹介を行い、その後に入校生が自己紹介。積極的なコミュニケーションを図っていた。





(Moto Classベーシックコース)バイクに慣れることを主眼に置いて行った第1回目カリキュラムの初日



(Moto Classベーシックコース)低いスピード域で小さく曲がる技術は速いスピード域で大きく曲がることにも活かすことができる



早くもタイムトライアルやセット走行を行った Kartベーシックコース／アドバンスコースの第1回カリキュラム

Kart Classベーシックコース／アドバンスコースの第1回目カリキュラムも3月27日(月)よりスタートしました。

まずはコースインする際の注意点など、基本的なルールを確認した後、走行訓練へ。鈴鹿サーキット南コースを舞台にフリー走行を行いながらスクール用レーシングカートのエンジンの慣熟作業を実施しました。エンジンの回転リミットを10,000回転、12,000回転、そして全開と、3つの段階に分けてエンジンを回しながら南コースを周回することで、マシンとコースに慣れることを目的としました。

各自この日の課題を確認し、2日目の28日(火)のカリキュラムに活かすため、走行後にはミーティングを実施。ここでも中野信治Vice Principalより入校生に向けて激励の言葉が贈られました。さらに新入生は自己紹介するとともに将来の夢を発表しました。

2日目の28日(火)と最終日の29日(水)もコースに慣れるためにフリー走行を繰り返す行い、タイムトライアル、予選ヒートおよび決勝ヒート形式のセット走行も実施。早くも本番レースさながらの内容でカリキュラムを行いました。

これらの走行時は各Instructorが同時走行することでライン取りやブレーキングポイントなどを教え込みました。また、その他のInstructorはコース脇より受講生の走りをチェックし、走行後にアドバイスをを行いました。

また、28日(火)と29日(水)のKart Classベーシックコースのカリキュラム後にはKart Classアドバンスコースの第1回目カリキュラムを実施しました。マシンはフォーミュラEnjoyを使用。初めてフォーミュラマシンに乗る入校生もいるため、Instructorが受講生を先導し、徐々にスピード域を上げていくことでマシンに慣れていきました。また、ヒール&トゥの練習も集中して行いました。

なお、昨年度に引き続き、F1ドライバーのセルジオ・ペレス氏がKart Classのアンバサダーに就任。これまでのレースキャリアやF1参戦の中で得た知見を受講生に伝えていく予定です。



(Kart Classベーシックコース／アドバンスコース)改めてスクール全体撮影をコース上・スクール車を前に実施。今年を受講生はカート経験者が多い。全カリキュラムが終わる頃にどれだけ上達しているか楽しみだ。





(Kart Classベーシックコース/アドバンスコース) 舗装の補修が終了した南コースを舞台にフリー走行を行いながらスクール用レーシングカートのエンジンの慣熟作業



(Kart Classベーシックコース/アドバンスコース) 自らアドバイスを求める積極性も受講生にとって重要な要素の一つ

